



平成30年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ツツミ

コード番号 7937 URL <http://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

定時株主総会開催予定日 平成30年6月28日

配当支払開始予定日

平成30年6月29日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	17,566	8.4	968	11.3	1,062	9.6	599	
29年3月期	19,172	11.9	869	43.5	969	41.1	921	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	34.08		0.9	1.5	5.5
29年3月期	50.60		1.3	1.3	4.5

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 百万円 29年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	72,023	70,164	97.4	3,990.91
29年3月期	71,976	70,173	97.5	3,991.38

(参考) 自己資本 30年3月期 70,164百万円 29年3月期 70,173百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	1,883	157	527	38,898
29年3月期	1,679	194	2,250	37,700

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期		15.00		15.00	30.00	541		0.8
30年3月期		15.00		15.00	30.00	527	88.0	0.8
31年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00		81.1	

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	2.0	80	32.6	130	21.7	40	40.1	2.28
通期	17,200	2.1	900	7.0	1,000	5.9	600	0.1	34.13

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期	20,080,480 株	29年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	30年3月期	2,499,309 株	29年3月期	2,499,106 株
期中平均株式数	30年3月期	17,581,299 株	29年3月期	18,210,691 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
<継続企業の前提に関する注記>	10
<持分法損益等>	10
<セグメント情報>	10
<1株当たり情報>	10
<重要な後発事象>	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、欧米の政策動向に伴う海外経済の不確実性に加え、地政学的リスクの高まりによる影響が懸念されるなど不安要素が多数存在し、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、消費トレンドは依然として力強さを欠き、引き続き厳しい状況でありました。

このような経済情勢のもと、当社は、品質、デザイン及びコンセプトにこだわったハウスブランド「Pure Planets」「Blessed Rain」の継続的なブランディング施策を推進するなど、販売力の更なる強化に取り組むとともに接客サービスの向上など顧客志向を徹底し、お客様から支持される店舗づくりに努めてまいりました。

その結果、売上高は175億66百万円（前期比8.4%減）となりました。利益面につきましては、営業利益が9億68百万円（前期比11.3%増）、経常利益が10億62百万円（前期比9.6%増）、当期純利益は5億99百万円となりました。

主要品目の販売実績は、ネックレス・ブレスレットは64億59百万円（前期比8.1%減）、指輪は64億2百万円（前期比7.6%減）、小物は29億27百万円（前期比0.3%減）であります。

店舗につきましては、ジュエリーツツミオンモール甲府昭和店をはじめとする2店舗を新たに開設したほか、既存店7店舗のリニューアル及び8店舗の退店を実施いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、720億23百万円となり、前事業年度末と比較して47百万円増加しております。これは主に、商品及び製品が8億85百万円、ソフトウェア仮勘定が2億14百万円、差入保証金が1億18百万円、原材料及び貯蔵品が83百万円、投資有価証券が75百万円、土地が58百万円、建物が57百万円減少したものの、現金及び預金が11億97百万円、売掛金が2億7百万円、ソフトウェアが1億49百万円増加したことによるものです。

負債の部は、18億58百万円となり、前事業年度末と比較して56百万円増加しております。これは主に、未払金が61百万円減少したものの、未払消費税等が52百万円、未払法人税等が41百万円、預り金が39百万円増加したことによるものです。

純資産の部は、701億64百万円となり、前事業年度末と比較して9百万円減少しております。これは主に、利益剰余金が71百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が80百万円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により18億83百万円の資金が得られ、投資活動及び財務活動によりそれぞれ1億57百万円、5億27百万円の資金を使用したことにより、前事業年度末に比べ11億97百万円増加し、388億98百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により得られた資金は18億83百万円となり、前年同期と比べ2億3百万円の増加となりました。これは主に、前年同期において、税引前当期純損失を5億97百万円、内、減損損失を15億73百万円計上し、売上債権の減少95百万円、たな卸資産の減少7億83百万円、法人税等の支払額5億32百万円があったことに対し、当事業年度において、税引前当期純利益を10億39百万円、内、減損損失を60百万円計上し、売上債権の増加2億4百万円、たな卸資産の減少9億10百万円、法人税等の支払額3億66百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により使用した資金は1億57百万円となり、前年同期と比べ37百万円の減少となりました。これは主に、前年同期と比べ有形固定資産の取得による支出が39百万円、有形固定資産の売却による収入が30百万円それぞれ増加し、無形固定資産の取得による支出が39百万円減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により使用した資金は5億27百万円となり、前年同期と比べ17億22百万円の減少となりました。これは主に、前年同期と比べ自己株式の取得による支出が16億95百万円減少したことによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率 (%)	97.5	97.5	97.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.7	50.8	50.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などの影響がわが国の景気を下押しするリスクとして残り、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

宝飾品業界におきましても、企業に対するお客様の厳しい選別が加速する中、市場競争がなお激しさを増すことと予想されます。

このような経済情勢のもと、当社は、原材料の買い付けから、製造・販売に至るすべてを一貫して行う「パーティカル インテグレーション システム」の利点を活かした品揃えの充実やお客様の視点に立ったきめ細かいサービスの向上に努め、魅力溢れる店舗づくりに全力で取り組んでまいり所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R S (国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,700	38,898
受取手形	57	54
売掛金	858	1,065
商品及び製品	15,470	14,585
仕掛品	436	494
原材料及び貯蔵品	2,144	2,061
前払費用	52	46
繰延税金資産	93	87
その他	223	161
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	57,031	57,448
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,805	4,729
減価償却累計額	△3,987	△3,969
建物 (純額)	817	760
構築物	62	62
減価償却累計額	△59	△59
構築物 (純額)	3	2
機械及び装置	189	164
減価償却累計額	△155	△134
機械及び装置 (純額)	34	30
車両運搬具	13	13
減価償却累計額	△12	△13
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	1,261	1,105
減価償却累計額	△1,085	△883
工具、器具及び備品 (純額)	175	222
土地	8,266	8,208
建設仮勘定	10	-
有形固定資産合計	9,309	9,224
無形固定資産		
借地権	152	152
ソフトウェア	255	404
その他	223	8
無形固定資産合計	630	565
投資その他の資産		
投資有価証券	644	568
関係会社株式	13	13
出資金	1	1
関係会社長期貸付金	81	79
前払年金費用	152	163
繰延税金資産	82	51
差入保証金	3,878	3,759
その他	151	148
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,005	4,785
固定資産合計	14,944	14,574
資産合計	71,976	72,023

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152	146
未払金	114	52
未払費用	493	499
未払法人税等	424	466
前受金	16	29
預り金	24	63
賞与引当金	212	199
その他	182	236
流動負債合計	1,620	1,693
固定負債		
役員退職慰労引当金	136	121
その他	44	43
固定負債合計	181	165
負債合計	1,802	1,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金		
資本準備金	15,707	15,707
資本剰余金合計	15,707	15,707
利益剰余金		
利益準備金	600	600
その他利益剰余金		
別途積立金	47,110	45,610
繰越利益剰余金	△631	940
利益剰余金合計	47,078	47,150
自己株式	△6,058	△6,059
株主資本合計	69,826	69,897
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	347	267
評価・換算差額等合計	347	267
純資産合計	70,173	70,164
負債純資産合計	71,976	72,023

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	19,172	17,566
売上原価		
製品期首たな卸高	16,049	15,470
当期製品製造原価	8,715	7,208
合計	24,764	22,679
他勘定振替高	109	107
製品期末たな卸高	15,470	14,585
原材料評価損	—	3
製品売上原価	9,185	7,990
売上総利益	9,987	9,576
販売費及び一般管理費	9,117	8,608
営業利益	869	968
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	13	13
為替差益	0	0
受取家賃	59	59
その他	21	20
営業外収益合計	101	97
営業外費用		
支払手数料	1	—
その他	0	3
営業外費用合計	2	3
経常利益	969	1,062
特別利益		
固定資産売却益	8	17
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	8	38
特別損失		
固定資産除却損	2	0
減損損失	1,573	60
特別損失合計	1,575	61
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△597	1,039
法人税、住民税及び事業税	382	342
過年度法人税等	—	68
法人税等調整額	△58	29
法人税等合計	323	440
当期純利益又は当期純損失 (△)	△921	599

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	13,098	15,707	600	48,410	△455	△4,365	72,995
当期変動額							
別途積立金の取崩				△1,300	1,300		—
剰余金の配当					△554		△554
当期純損失 (△)					△921		△921
自己株式の取得						△1,693	△1,693
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	△1,300	△176	△1,693	△3,169
当期末残高	13,098	15,707	600	47,110	△631	△6,058	69,826

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	177	73,172
当期変動額		
別途積立金の取崩		—
剰余金の配当		△554
当期純損失 (△)		△921
自己株式の取得		△1,693
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	170	170
当期変動額合計	170	△2,998
当期末残高	347	70,173

当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	13,098	15,707	600	47,110	△631	△6,058	69,826
当期変動額							
別途積立金の取崩				△1,500	1,500		-
剰余金の配当					△527		△527
当期純利益					599		599
自己株式の取得						△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	-	-	△1,500	1,571	△0	71
当期末残高	13,098	15,707	600	45,610	940	△6,059	69,897

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	347	70,173
当期変動額		
別途積立金の取崩		-
剰余金の配当		△527
当期純利益		599
自己株式の取得		△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△80	△80
当期変動額合計	△80	△9
当期末残高	267	70,164

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△597	1,039
減価償却費	311	363
減損損失	1,573	60
差入保証金償却額	16	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	△14
受取利息及び受取配当金	△20	△18
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△21
為替差損益 (△は益)	0	△0
固定資産除却損	2	0
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	95	△204
たな卸資産の増減額 (△は増加)	783	910
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29	△6
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16	52
その他	79	94
小計	2,190	2,231
利息及び配当金の受取額	21	18
法人税等の支払額	△532	△366
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,679	1,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	-	24
有形固定資産の取得による支出	△183	△223
有形固定資産の売却による収入	8	38
無形固定資産の取得による支出	△157	△118
貸付金の回収による収入	2	2
差入保証金の差入による支出	△33	△39
差入保証金の回収による収入	195	179
その他	△24	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,695	△0
配当金の支払額	△554	△527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,250	△527
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△765	1,197
現金及び現金同等物の期首残高	38,465	37,700
現金及び現金同等物の期末残高	37,700	38,898

(5) 財務諸表に関する注記事項

〈継続企業の前提に関する注記〉

該当事項はありません。

〈持分法損益等〉

前事業年度、当事業年度のいずれにおいても、該当事項はありません。

〈セグメント情報〉

当社の事業内容は、指輪、ネックレス・ブレスレット、小物等の宝飾品の製造とその販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、前事業年度、当事業年度のいずれにおいても記載を省略しております。

〈1株当たり情報〉

	前事業年度 (自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月 31日)	当事業年度 (自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月 31日)
1株当たり純資産額	3,991円38銭	3,990円91銭
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり 当期純損失金額 (△)	△50円60銭	34円08銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月 31日)	当事業年度 (自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月 31日)
当期純利益金額又は当期純損失金額 (△) (百万円)	△921	599
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額又は当期 純損失金額 (△) (百万円)	△921	599
期中平均株式数 (千株)	18,210	17,581

〈重要な後発事象〉

該当事項はありません。